



ATSUMA LOVERS

京町の仮設店舗の一角に構えるヨガスタジオとカフェ店。料理を通じて厚真の美味しい野菜を消費者につなぎ、人の輪を紡いでいます。聞き慣れない西洋野菜の味に感銘を受ける人も多く、リピーターが後を絶ちません。豊かな自然を満喫しながら、厚真の魅力を町内外に伝える北條さんを訪ねました。



ヨガスタジオ・カフェ店経営
Vol.16 ほうじょう かなえ
北條 佳苗さん(44歳)

美味しい野菜で人の輪を紡ぐ

苫小牧市から移住し、16年が経ちました。「体調を崩してしまい、なるべく自然な環境に身を置きたかった」が理由です。農業にも興味を持ち、鹿沼地区の教員住宅で約1年間生活。農家などから、自然農法なども学びました。「夜は真っ暗。当初、赤ちゃんの悲鳴のようなキツネの鳴き声が怖くて外出できませんでした。今は、平気ですけどね」。その後、幌内地区

に引っ越し。避難生活を経て再び幌内地区に戻り、満点の星空を眺め、畑に咲く花の匂いに癒されながら生活を満喫しています。
2、3軒の農家から野菜を仕入れられます。「食べごろ野菜をすぐ提供できるのが強み。味はもちろん、長持ちします」と、声のトーンが上がりました。チコリの仲間でキク科のラディッキオ・ロッシンやアブラナ科のハーブのコールラビ、

鎮静効果があるといわれるセリ科のハーブのディールなど、種類豊かな野菜が採れるのも厚真の魅力といえます。

「野菜って、可愛いな」。調理場では、いつも心が躍ります。切り方ひとつで食感や味が変わるため、時間をかけて、カットの方法を考えるのだそうです。「野菜を見てみると、不思議とカットの仕方が分かってくるの。味見して美味しいと笑顔になります。たまに失敗して、やり直すこともありますけどね」。

「怠け者だけ頑張る」と自己評価する北條さん。常に前向きな姿勢を忘れません。時間があると本を読み、著者の言葉から様々な考え方を学んで生活に生かしています。「いつもありがとう」と掛けられる言葉が原動力と胸を張りました。

「お米、野菜、果物…。自然の贈り物を通じて、これからも厚真の魅力を伝えます」。

あなたにとっての
愛すべき厚真を投稿してください



フェイスブック
@atsumatownhokkaido



インスタグラム
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたはインスタグラムに投稿してください。

ATSUMA LOVERS